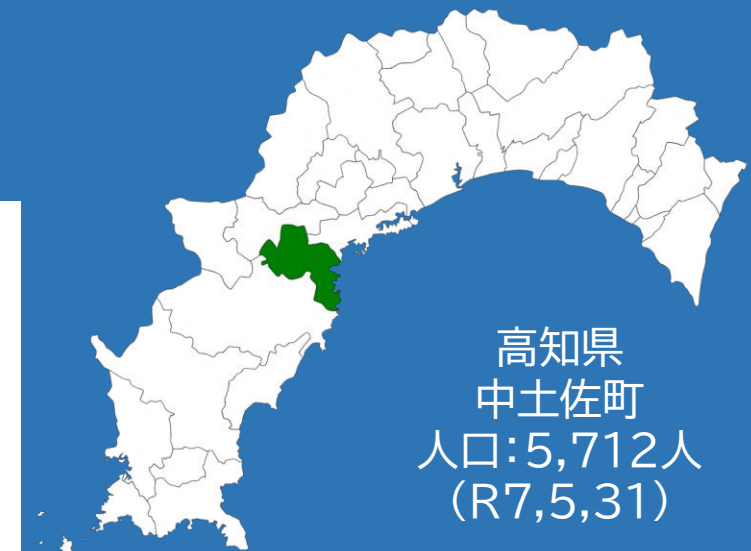


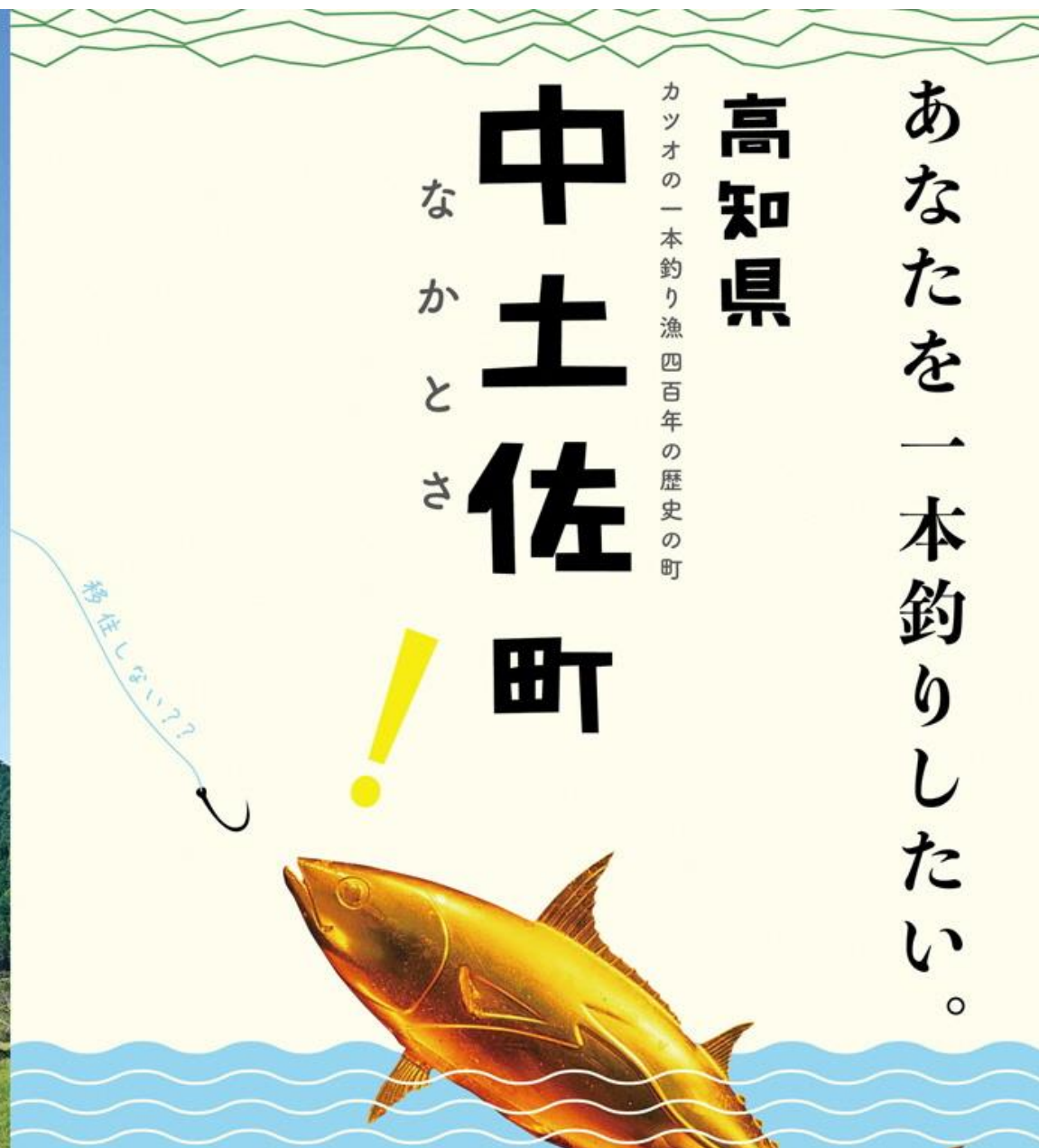


中土佐町 移住情報発信強化事業

中土佐町は高知県の中西部に位置し、「土佐の一本釣り」に代表されるカツオ漁が盛んな町です。全国的な課題となっている人口減少は、県内の自治体の中でも高い率になり、流出抑制はもちろんのこと、移住のさらなる促進が課題となっています。



町の概要



- 400年以上前から
カツオの一本釣り漁が
続く漁師町



中土佐町 移住情報発信強化事業

中土佐町 まちづくり課 総合企画係
✉ machi@town.nakatosha.lg.jp
☎ 0889-52-2365

<【移住】そのものの課題>

- 町に住む人が“移住”に興味がない。
 - 人が減ることがよくないと思うが、自分には関わりのないことと思っている。
 - 空き家の活用も進まない。

どうやって、町の人を巻き込んでいくか。

- 町に住む人が“町の魅力”を理解していない。
 - 豊かな自然、美味しい魚・肉・米...
 - 全国のほとんどの自治体が同じことを言っている。
 - “ここに行きたい”と思ってほしい。

魅力を最大限に伝える方法とは。

現状の課題



<中土佐町の移住への取り組みの課題>

- 前任者が感じた移住フェアでの“大海の小舟”感。
 - わが町の知名度の低さをどうにかしたい！
- 財政力、機動力の高い自治体に後れを取っている。
 - “みんながやってるから移住”じゃダメだ！
- 国や県の事業を上手く活用できていない。
 - “忙しい”を理由に留まっている余裕はない！



中土佐町 移住情報発信強化事業

中土佐町 まちづくり課 総合企画係
✉ machi@town.nakatosha.lg.jp
☎ 0889-52-2365

令和6年度の取り組み

○ 地域おこし協力隊【団体委託型】の運用開始！



これまで、行政の雇用に残っていたが、地域の企業・団体で雇用するように行政から委託するという選択肢を増やすことで、移住者である地域おこし協力隊がもっと町の人と関わる環境を作ります。→ **地域協働の促進**

R6年中に、7団体から10名分の募集計画書が提出され、R7年4月から3名が着任しています。

今後、7月に2名、10月に1名が続々着任予定です！

○ まずは“町に来てもらおう”大作戦！



いきなり移住の話をするよりも、「まずは町に遊びに来てください。」を伝えることが大切で、その伝え方を考えることも大事です。

「うちのカツオを食べたら、もう他では食べられなくなる」



「カツオ好きの高知県民が、わざわざ食べに来るのが、うちのカツオ」

R7年1月の移住フェアでお話した**15組のうち6組が来町**しました！



中土佐町 移住情報発信強化事業

中土佐町 まちづくり課 総合企画係
✉ machi@town.nakatosha.lg.jp
☎ 0889-52-2365

令和7年度の取り組み

【行政委託型】と【団体委託型】の併用をさらに進め、これまで以上に地域の課題解決に向けて、地域住民との連携を密にした地域おこし協力隊制度の活用を進めていきます。

<隊員数目標>

R6.4時点：5名 → R10.4時点：30名

地域おこし協力隊**制度活用推進**事業

WEB**メディアプロモーション**事業

移住を先に置いた観光視点での動画制作等のプロモーションをタイアップ形式で行います。

町の認知度向上につなげるため、移住フェア参加者の来町・移住体験ツアー参加などの増加を目指します。

<移住体験住宅利用泊数>

R6実績：109泊 → R7目標：260泊

地域おこし協力隊インターン制度を活用し、町内に13泊14日間滞在するテレワーカーを募集します。
滞在中は、SNSを通じて中土佐町の観光や日常に関する情報発信を行う事業に取り組んでいただきます。

<滞在目標人数>

R7年度：50名(計700日滞在)

地域おこし**協力隊インターン**事業

子育て支援情報発信強化事業

実は、県内でもトップクラスの充実と言われる子育て支援策が、移住を考えている人や、町外で暮らしている人には全く届いていないという現実があります。

これを打開するために、支援情報発信用のSNSアカウントの育成を兼ねたキャンペーンを行います。

(R7年度下半期実施予定)



中土佐町 移住情報発信強化事業

中土佐町 まちづくり課 総合企画係
✉ machi@town.nakatoso.lg.jp
☎ 0889-52-2365

移住の促進を通じて目指すもの

8 働きがいも
経済成長も



地域おこし協力隊の団体委託型を開始する際の説明会には、地域の個人商店を含め、多くの方の参加がありました。

今年7月着任の協力隊員は、高齢による廃業を検討していた事業者への委託で、3年後の事業承継に向けて取り組んでいく予定です。

地域の仕事を、ブラッシュアップし、次世代に残すことで、地域の経済を守りたいと考えています。

11 住み続けられる
まちづくりを

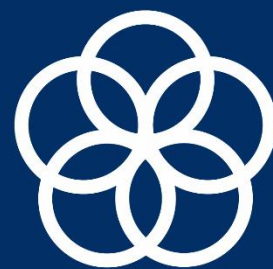


中土佐町には、高校がありません。「町には仕事がない。外へ出て仕事をしなさい。」と親は子に言います。親にそう言われたら、子どもたちは町から離れていくばかりです。

町に働く場所を作り、移住者に選ばれる町になることは、町で育つ子どもたちの誇りにもなります。

住み続けられる町になるために、まず、選ばれる町にならなければなりません。

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



町を持続していくための取り組みだからこそ、移住への取り組みが行政だけのものになってはいけません。

地域の人、団体、企業が、ともに取り組んでいける事業に変化を続けます。



中土佐町 移住情報発信強化事業

中土佐町 まちづくり課 総合企画係
✉ machi@town.nakatosha.lg.jp
☎ 0889-52-2365

企業のみならず、まちづくり課 総合企画係

遠くからの応援をお願いします。

企業版ふるさと納税など、高知の小さな町が取り組む【まちぐるみの移住】へのご支援をお願いします。
町HP、移住ポータルサイト等での企業様のご紹介など、社会貢献活動としてのPRにご協力させていただきたいと考えています。

来町しての応援もお願いします。

ワーケーションや**社員研修**としての滞在を通じて、移住の面だけでない中土佐町の課題にふれていただけないでしょうか。地域のキーパーソンや課題の現場へのご案内、当町の職員などとのディスカッションを通じて、御社の新たなビジネス創出や人材育成の機会につなげていただきたいと考えています。

課題解決へのご協力をお願いします。

現在、移住に関連する事業を進めていく中で、**空き家の活用**や**宿泊・滞在施設の圧倒的不足**が課題としてあり、今後、**若い世代の就労支援**や**所得向上**の観点からの事業を企画していく方向で検討を行っています。

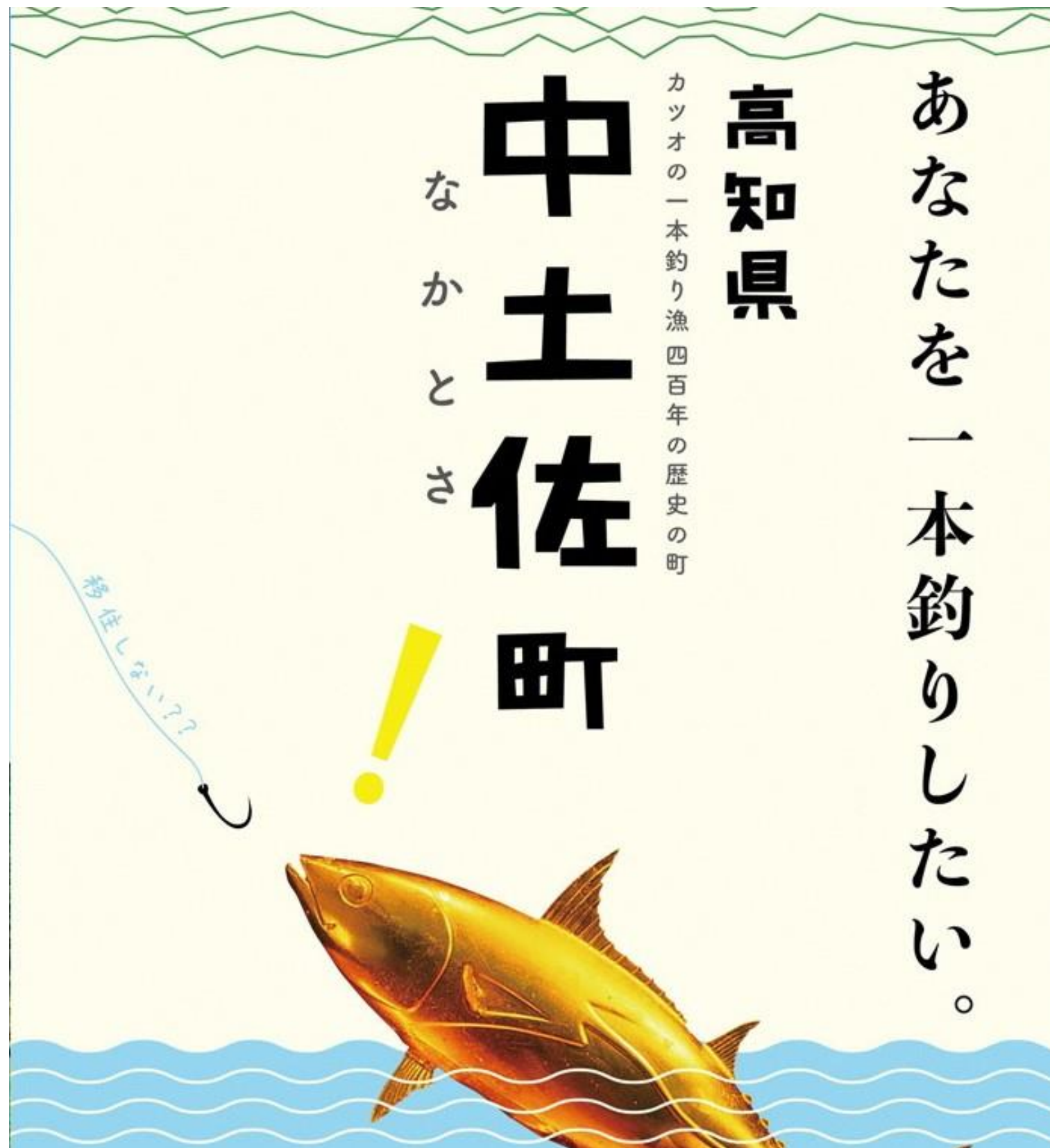
地方の小規模自治体の課題は、全国の自治体が共有する課題です。中土佐町をフィールドに、この解決策を協創していただける企業様を求めています。ぜひ、ご検討をお願いします。



中土佐町 移住情報発信強化事業

中土佐町 まちづくり課 総合企画係
✉ machi@town.nakatosha.lg.jp
☎ 0889-52-2365

みなさまからの「ご連絡をお待ちしています」



中土佐町 まちづくり課 総合企画係
✉ machi@town.nakatosha.lg.jp
☎ 0889-52-2365